

YOUTH SERVICE

若者を考える、若者と考える

vol.28



特集

若者 × ハコ

TOPICS 学習支援事業の成果と今後

Catch Your Dream 夢をかなえる学校がある!

— 普通科目とコース専門科目（希望者のみ）の履修で高校卒業資格を取得

選べる4つの登校スタイル

Schooling×Style

クラス制 たくさんの友達と接しながら学ぶ。

フレックス制 自分で登校する時間帯を選ぶ。大学感覚で学ぶ。

土曜日選択制 指定の土曜日に登校。少人数の塾感覚で学ぶ。

夏冬集中受講制 夏休みと冬休みなどに集中して授業出席して学ぶ。

※それぞれの登校スタイルは途中変更が可能です。



選べる16の専門コース

Special×Course

- 進学
- 調理・製菓
- 声優
- IT
- 理容師・美容師（国家資格取得）
- 芸術
- 芸能
- 心理・教育
- コミック・アニメーション
- ダンス
- 美容
- ミュージック
- スポーツ
- 外国語
- 保育

NEW 地域実践 平成30年開講

※希望者のみ選択できます。 ※専門コースは毎年変更できます。
※卒業単位に20単位まで認定できます。

盛んなクラブ活動が高校生活を彩ります

マンガ研究部 / 料理部 / 写真部 / ASG部 / 演劇部 / 茶道部 / 吹奏楽部 / 軽音部 / 声劇部 / 手芸部 / 健康増進部 / TCG部 / 天文部 / テニス部 / 卓球部 / バasketボール部 / フットサル部 / 総合運動部 / その他
生徒会・保護者会・同窓会・いちの和会（後援会）が連携して、在校生の活動を支援しています。



平成29年新校舎のぞみ館完成

不登校相談支援センター なごみ教室

学校生活や人間関係等で不安感や緊張感が高まり不登校に悩む保護者や生徒を対象に、いきいきとした生活を送ることができるように、総勢9名のカウンセラーが支援します。

平成27年4月京都府認可

私たちは青少年育成を
応援しています!



通信制・単位制・普通科

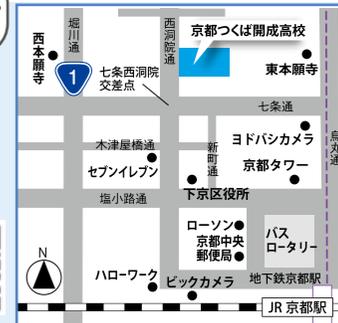
京都つくば開成高等学校

転入学や編入学は、随時受付します。 <http://tkaisei-kyoto.jp/> 京都つくば

〒600-8320 京都市下京区西洞院通七条上 福本町406番

TEL:075-371-0020 FAX:075-371-0021

◆JR・近鉄地下鉄烏丸線「京都駅」より北西へ徒歩8分 ◆京阪「七条駅」より西へ徒歩16分



若者×ハコくやませい99時間く

高校生が作ったページ

高校生が高額転売について考える

集団を通したユースワーク

水野篤夫

TOPICS

学習支援事業の成果と今後

ユースかわら版

「なんたん地域で新たな展開」

「商店街で『恋ダンス』」

ほか

ぶち・メッセージ

常務理事就任にあたり
～所感～

京都市ユースサービス協会
常務理事
藪田 博司



この度、京都市ユースサービス協会の常務理事に就任いたしました。皆様よろしくお願ひします。

ここ5年はひきこもり等の相談支援の仕事に携わってまいりました。振り返りますと私が働き始めた70年代は、日本の社会全体が経済成長を目指し邁進していたように思います。

現在は急激に進む少子高齢化、またグローバル化の渦の中で、変化を受け入れられなくて取り残される大人、その姿を見てさらに困惑し未来に希望を感じられない若者が増えている。そんな感覚さえ覚えます。言い換えれば、古き良き時代から抜け出せずにいる大人が自分の価値観を若者に押し付け、その価値観を理解できない若者が困惑し悩み苦しんでいるのが現代社会の一端ではないでしょうか。私たち大人は日常の自然な形の中で若者を受け入れ、個々の個性や価値観を尊重することで、初めて歩み続ける彼らの姿に触れることが出来るのではないのでしょうか。

協会では、若者が集い・語り・社会の一員として自ら創り上げていく場の提供も目指しています。“若者よ！ 語ることで自身の悩みや未来へのヒントが見えてくることもある！ ユースワーカーと話してみよう！”

イラスト：おおつか なな

京都市ユースサービス協会 Facebook
おかげさまで
1000いいね！

ありがとうございました！

ユースサービスの理念

子どもから責任ある大人へと成長する青少年を支援しています。
家庭、学校、地域社会、職場ほか、青少年が自主的な活動場面への参加を通じて、社会と交わり、自身の興味や関心を豊かにし、必要に応じて、助言、情報、または多様な人的・物的資源が得られるような機会を提供します。

第一学院独自のプラスサイクル指導で
自分を好きになる、未来が変わる！

中3、転・編入のご相談を
随時受け付けております。
お気軽にお電話ください。

自分に合ったスクールライフ

通学型 ●毎日通って高校生活を満喫
●週1～3日マイペースに登校

通信型 - Mobile HighSchool -
●時間や場所を選ばず学ぶ

ICT教育の推進

iPad・miniを生徒全員に配布

学習意欲の向上 学力の定着

iPadはApple Inc.の登録商標です。

仲間ができる!笑顔が増える!

 **心強い仲間たち**
(ピアサポーター)

 **様々なサークル・イベント**

自分に合った学習

- 中学校の復習から大学受験対策まで
- 進路対策も万全(進学・就職)
- [セルフケア講座]で社会に出て役立つストレス対策

進路決定へのこだわり

- 大学進学者 **500名**
- 専門学校等進学者 **665名**
- 就職者 **258名**

(平成28年 進路実績)

進路定着・自立サポート

- キャリアサポートセンター
- チームD1 (卒業生ネットワーク)



若者×ハコ

やませい99時間

山科青少年活動センター

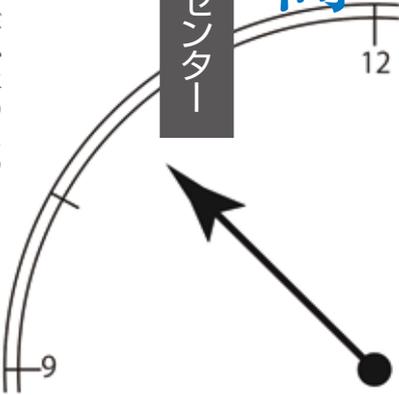
今回の特集では、青少年活動センターという「ハコ」(青少年のための建物)の中の日常を取り上げました。

青少年のための施設数は、全国的には減少傾向が続く中、京都市では1960年から現在まで「青年の家」「青少年活動センター」として「ハコ」を維持してきました。しかし、青少年施設にはどんな人たちが来ているのか、外からはわかりにくいことも多いと思われれます。もう少し「ハコ」の中でできごとを多くの皆さんに知っていただけるように取り組んだ試みです。

「やませい」京都市山科青少年活動センターは若者からこう呼ばれています。

やませいには多くの若者が来ます。若者だけではなく大人や子どもも来ます。そんな年齢層も利用する目的も様々な来館者の皆さんにインタビューをして短いコトバをいただき、それをまとめてみました。NHKのテレビ番組の『ドキュメント72時間』のように、やませいを行きかう人のコトバを集めることで、やませいの雰囲気伝わればおもしろいのではないかと考えました。番組に敬意を表して、こちらのタイトルは、「やませい99時間」です。

テレビ番組のように実際の時間の流れに沿った編集はしていません。3週間の間に訪



れた人たちのコトバを曜日と時間を変えずに編集しています。例えば、複数の日曜日の午前中に来た人のコトバは、日曜日午前に来た人のコトバとして並べていきます。「この時間帯にはこんな人がよく来られますよ」という感じですよ。

一人ひとりの記事は、ユーザーがインタビューを行い、ご本人に原稿を確認してもらったものを掲載しています。ここでは、何年かのかかわりの結果として聞けたもの、ユーザーにとつて意味のあるものなど、印象深いコトバを中心にまとめました。

この特集のインタビューにご協力いただき、快く応じていただいた皆さんに改めて感謝します。ありがとうございます。

18:00 サッカーの裾野を広げたい!



サッカー教室を開いている。サッカーが好きなお子に教えるより、サッカーに出会うきっかけがない子に楽しさを知ってもらうことを大事にしたい。

18:00 学習支援の学生ボランティア



「自分のことのように中学生のことを考えている」「一緒に成長していける」と感じている。

19:00 ローカルアイドルがダンス



やませいは若い人が多くて利用したくなる雰囲気。窓ガラスを鏡にみだててダンスの練習をしていると、外から通りすがりの人が観ていくこともある。

19:30 「テストがやばかった」高校生



中1からちょいちょい来てた。高校に入ってからは久しぶり。テストの点が心配……。今日は、3人でたなばたカフェ(※①)のメニューを全種類食べた。

※①たなばたカフェ:『やませいカフェ(※③)』の特別版を7月7日に実施。メニューは、かき氷(チョコ味とマンゴー味)とフルーツパンチ。

20:30 仕事終わりに来た元職員



休みの前日で、仕事終わりにパワーをもらいに立ち寄った。やませいは僕のAnother sky!





10:00

11:00

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

18:00

19:00

20:00

21:00

10:00 夏休みになったらよく来るかも



今日は自習室で英語の勉強。意味は同じなのに様々な単語があって苦手。高校では文化系の部活に入りたい。

11:00 長年続く書道サークル



今日は出展の締め切りだったので集中して書いていますが、いつもは楽しく気楽に書いています。いつでもどなたでもどうぞ。



13:30 未来の人気者たち



流行りの YouTuber になってファンを作り有名になって起業したい。今日はキャラ設定を考える会議をする。

15:00 クラブもクラスも一緒の中1男子



今日はロビーに遊びに来た。和室で勉強したりゲームしたりして過ごすことがある。

16:30 キュウケイチュウ



ワレワレハ、キュウケイチュウダ。ヨロシク。ヨクヤスメル。ソファーガキモチイイ。イエガチカイ。マンガガアル。テレビガアル。

10:00 週2でやませいを使うテニスサークル



サークルの名前は発足した年(2004年)からとった。テニスのほかに登山やBBQなどいろいろやっている。来月は富士山に登る予定。

12:00 インターンシップの事前訪問に来た大学生



ボランティア活動や対人支援に興味があって、ここの活動のことをもっと知りたくて来ました。8月から頑張ります。

13:00 人気の調理実習



障がいのある人が日常生活でできることを増やしています。大人数で使える調理室はここしかないの助かっています。

14:00 芸人のタマゴになって2ヶ月め



高校卒業するまではよく来てた。今は高校時代の友人と芸人養成学校で修業中。いつか自分の冠番組を持ちたい。

15:30 もうすぐ引退するテニス部中学生



中1のころからテニスをしてる。あんまり強くないけどテニスは楽しい。

17:00 大学の料理サークル



「おいしいものを作って食べる」をテーマに料理好きやひとり暮らしの学生が活動するサークル。大学では料理室が借りられないので、ここで活動中。

12:00 ひとつかみで2009の麺がわかります



大学ボランティアセンターの仲良しグループで遊びに来た。メンバーのひとり、製麺所のバイトで鍛えた、麺の重さをつかんだだけでわかるのが特技。

13:30 フットボールクラブに参加した親子



ずっと山科にいたが、こんな所があることは知らなかった。最近、グラウンドも公園も使えないことが多いので、子どもが走り回れる場所があってうれしい。

15:00 今日、2回めのイッテQゲーム



家ですることがなかったから遊びに来た。ボードゲーム、楽しい！小4の頃にお兄ちゃんと一緒にテニスしに来たことがある。

17:00 誕生日のケーキを作る姉弟



今日、誕生日の母親に「ケーキ買ってきて」と言われたので、サプライズで自分たちで作ることにした。きっと喜んでLINEのタイムラインに載せるやろうなあ。

18:00 顔つきがしっかりしてきた新社会人



高1から5年くらい使ってる。最近、仕事を始めて、今日は初給料で友達と飲みに行く。集合前に職員の顔を見に寄ってみた。

19:30 買い物帰りに来た高校生



中3の時はよく来てた。ちょっと時間があって半年ぶりに来た。ボードゲームで遊んだけど、ルールがよくできてるなあ。おもしろい！

13:00 ダンスの前にトランプで対戦



『スピード』の対戦中。週1回くらい来てます。遊び道具があるのが楽しい。

14:00 中学2年生女子4人組



ここはお金がかからないので来やすい。ほかに遊ぶところないし。部活が終わってから来ることが多いかな。2週間に1回は遊びに来てる。

15:30 テニサーかと思いきや野球サー



時々、テニスをしたくなってやませいを利用する。年1回のペースで来ている。最近、テニスの良さに目覚めた！

17:30 ずぶ濡れで来た女子高生



さっき病院でへそピアスあけてきた。まだ血止まなくてちょっと不安。帰りに大雨だったので傘借りようと思って寄ってみた。

19:00 後輩の思い出作りをプロデュース



大学の新生のゼミで運動会をしに来た。企画はゼミのサポートをする2回生。大盛り上がりで、ここまで苦労もあつたけど、やってよかった!!

20:00 1日遅れの願いごと



お目当ての職員が出勤していると友人に聞いて遊びに来た。七夕の願いごと書いてなかったし、まだ飾ってるやませいで書いて。中身は内緒。

やませいのつづやき ~何でこの写真なん?~

コトバに添えられた写真の中には、本文には出てきていないエピソードが込められているものもあります。

例えば、土曜日19:30のヘルメット。このヘルメットの口のように見える部分の加工は、本人の手作りです。すごいでしょ? 「かっこいいヘルメットってあんまりなくて。無いなら作ったらいいやんって思った。」大きなバイクに乗るようになった彼の成長と、手先が器用な変わっていない彼らしさの両方が垣間見え、心温まりました。

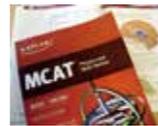
他の写真にもどんなストーリーが込められているか想像して楽しんでみてください。

やませいロビーの様子を定点カメラで撮影しハコの魅力がHPで公開しています。

◀ URL ▶

<http://ys-kyoto.org/yamashina/99hours/>



10:00	<p>10:00 やっぱり仲間が大事！卓球大好き</p>  <p>開所当時から利用しています。杖をつくようになって来つもりです。試合に出続けることを目標に練習しています。</p>	<p>10:00 1月の大学院入試に向けて猛勉強中</p>  <p>今は精神科医を目指してアメリカの大学で心理学の勉強中。長期休みの間は山科に帰ってきています。</p>	 <p>10:00</p>	10:00	
11:00	<p>11:00 健康体操 Glee メイト</p>  <p>健康寿命をのばすための運動！ 道具を使って脳トレ！ 楽しい仲間づくり！ 皆さんも参加しませんか？</p>	<p>12:00 消防音楽隊の公演で来ました</p>  <p>年間、約 260 ステージに出演し、演奏で興味を引きつけつつ、防火や救急事故防止について、劇などでわかりやすく伝えています。</p>	<p>11:30 ロビーで勉強前に食事休憩中</p>  <p>ズバリ、環境が整っている。例えば、自習室やテニスコート。「したいなあ」と思ったことができる。『べる (※②)』で地域貢献もできるし。</p>	<p>※②べる:10代の青少年が、やませい内や、地域での活動に取り組み、その対価として得ることができる地域通貨。</p>	11:00
12:00			<p>12:30 家じゃ集中できない！</p>  <p>塾が休講の時に勉強しに来てる。助産師を目指している高校生です。</p>	<p>13:00 レザークラフト楽しんでいます</p>  <p>40年くらい利用しています。レザークラフトだけでなくお喋りも楽しんでいます。興味ある方、一度見に来てください。</p>	12:00
13:00	 <p>火曜日 13:00</p>		<p>13:30 ロビーでの勉強が一番集中できる！</p>  <p>高校に入ってからひとり自習しに来てる。ロビーは適度ににぎやかで集中できるし、飽きたら職員とお喋りするの楽しい！</p>	<p>14:30 『人生ゲーム』が一番楽しい！</p>  <p>山あり谷あり、の人生を体験できるのがおもしろい！ ロビーにクーラーもついているし、いろんなボードゲームあるし、最高!!</p>	13:00
14:00					14:00
15:00	<p>15:30 「はぐくみ」ネットワーク</p>  <p>子どもを支え、はぐくむために地域の様々な団体が集まりました。今日は「小学生の科学教室」の抽選会です。ハズレた人はごめんなさい。</p>				15:00
16:00		<p>17:00 部活終わりに遊びに来た中学生</p>  <p>部活終わりに喋りに来た。ついでにかわいい子探しも。空いてたらどの部屋でも利用する主義。</p>	<p>17:00 座る場所があっていい！</p>  <p>トランプがある！ テニスコートがある！ 今日はヒマやったから小学校からの友達と来た。</p>	<p>17:30 日曜日の「未来の人気者」の彼女</p>  <p>彼氏が YouTuber で有名になって起業すると言っている。ネットでたたかれてる人もいるので心配。</p>	16:00
17:00	<p>17:00 カフェ利用 30 回以上の高 3</p>  <p>今日はカフェ (※③) のために来た！ 中 3 から 30 回くらいは食べてると思う。もうすぐ夏休みやけど、その前の三者面談が憂鬱。進路決めんなあ……。</p>		<p>18:00 大学生活、楽しいです！</p>  <p>受験期間はほぼ毎日、自習室に来ていました。今はバイトをしたり、高校の友達と遊んだり、大学生活も充実しています。</p>		17:00
18:00	<p>※③カフェ:『やませいカフェ』。毎週火曜日に 17 時からオープンしている。大学生ボランティアが運営し、毎回メニューが変わる手づくりの軽食を 100 円で主に中高生に販売・提供している。</p>	<p>19:00 テスト前の高校 2 年生</p>  <p>去年から使い始めた。ダンスのレッスンや、テスト前に友だちと喋りながら勉強するのに使っている。</p>		<p>19:00 センターのテニス企画に参加した 20 代の 2 人</p>  <p>講師に誘われて参加した。普段は同じ世代の人としかテニスをしないので、中学生とできて楽しかった。</p>	18:00
19:00	<p>19:30 14 年続いている日本語教室</p>  <p>大学生が立ち上げた活動。語学の勉強だけでなく交流も楽しみの一つです。国境に縛られない交流があると、人との縁を感じます。</p>		<p>20:00 ひま～</p>  <p>行くところないからやませいに来る。夜 12 時まで開いてほしいなあ～。お泊り会もしたい！</p>		19:00
20:00	<p>20:30 友だちに呼び出された 18 歳</p>  <p>急に呼び出されたけど、来てあげた。中 1 から高 3 の今まで結構使ってる。早く帰ってマリオカートやりたいのに……。</p>	<p>20:00 ふらっと顔を出した 17 歳</p>  <p>この間、河原町で職質かけられて靴下の中まで調べられた。腹立つ。ヒマやし、友達を呼び出そ～。</p>		<p>20:30 バイト終わりの美容師のタマゴ</p>  <p>お目当ての職員に癒されようと思ったのに、不在で会えなかった。残念！ Wi-Fi 使えるようにして！</p>	20:00
21:00					21:00

高校生が作ったページ

高校生が高額転売について考える

私たちが編集しました!



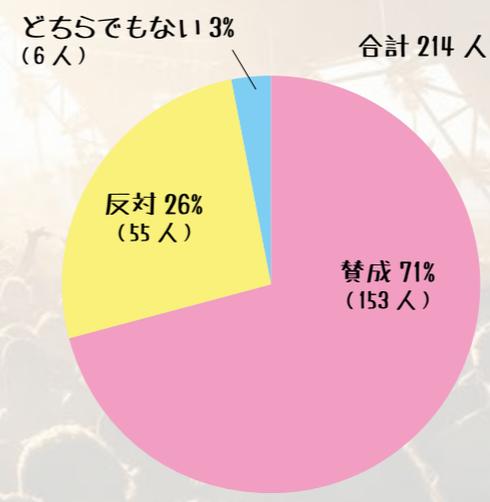
[右]小嶋あかり(17)
[左]的場美帆(17)

今、音楽業界では、コンサートのチケットを買い占めたり不当に価格を吊り上げて転売したりする個人や業者が横行する「高額転売」が問題となっています。私たち自身も手に入らなかった大好きなアーティストのチケットが転売されているという事実を知り、この問題が身近にあると感じました。

そこで、今回はこの問題について音楽好きの私たち2人が考え、記事にしてみました。

まず、高額転売がどういうものなのかということをお話しした上で、一般的に高校生年代はこの問題をどう捉えているのかということを知るために、青少年活動センターでアンケートをとりました。

「電子チケットに賛成か反対か？」



賛成は「楽で便利」チケットを無くさないですむ」、反対は「電子チケットにしたところで、高額転売は無くならない」「システムがよく分からない」という意見が多く見られました。

確かに、電子チケットはスマホ内で管理ができるため、高額転売の防止につながります。

しかし、電子チケットはここ数年の間で導入されたため、まだ仕組みを理解していない人が多いようです。また自身のスマホを貸して高額転売する者も出てきていることもあり、まだまだ課題が残っているように思われます。

◎高額転売の問題点

- ・組織的にチケットを買い占める一部の人のために、本当にチケットを欲しいファンが購入しにくい。
- ・転売サイトやSNS上で、偽造チケットが売られるなどして犯罪の温床となっている!
- ・アーティストのファンが経済的負担を受け、コンサートを楽しんだり、グッズを購入したりできたであろう機会を奪われている!

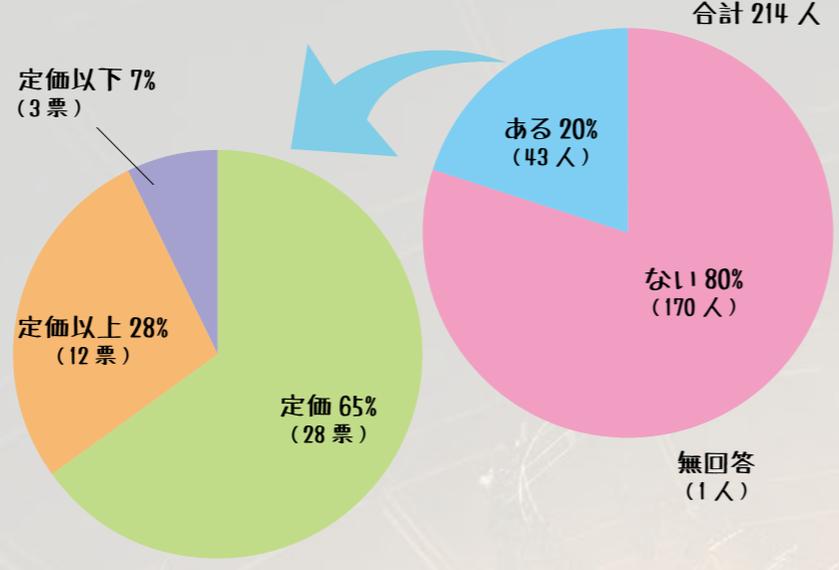
◎高額転売への対策

- ・チケットを適正な価格で売買できるシステムがつけられはじめています。
 - ・ネット上のダフ屋行為(※1)を取り締まれない現行法規の改正を、アーティストやレーベルなど日本の音楽業界が政府や自治体に対して訴えている。
 - ・電子チケット(スマートフォンを利用して会場に入場できるサービス)の導入。
- ➡システムや運用が発展途上のため、トラブルもたびたび起こっている。

※1 転売屋の一種で、乗車券、入場券や観覧券などを転売目的で入手し、チケット類を買えなかった人や買いたい人に売りさばく者、または業者のこと。ダフ屋が不正に売りさばいたり、売りさばこうとする行為を、「ダフ屋行為」という。

(引用サイト <https://www.wikipedia.org/>)

「転売サイトやSNS等を利用して、チケットを購入したことがあるか？」



多くの人がインターネットを利用してチケットを購入した経験がないとのこと、音楽業界では大きな問題となっている高額転売ですが、一般的にはまだそこまで問題と認識されておらず、知られていないのではないかと感じました。その一方で、「ある」と答えた人が20%いたのは、SNSの普及や、転売サービスのコ

体験談①

↓相手の可能な範囲で料金を上乗せというところで、他に不正転売を行っている人と比べると良心的だと思えました。料金の上乗せという点では、自分が頑張ったチケットだから、上乗せしたい気持ちも分からないこともないです。

コンサートのチケットの公演日が一緒に行く予定の友達とかぶったので、SNSを通じて知り合った人に譲った。その際に、定価プラス相手の可能な範囲で料金を上乗せした。

体験談②

↓大好きなアーティストのために頑張って遠方に行く人だっているんだから、そういう人たちの気持ちも考えてほしい! 定価であろうが高額であろうが、もともと売るつもりで購入することには反対!

好きなアーティストのコンサートでグッズ販売の列に並んでいたところ、直前で商品を業者が大量購入したため、売り切れになってしまい、購入することができなかつた。

まとめ

転売と言っても様々な種類があり、ネット上でのやり取りは目に見えているので通報できても、直接会って取引した場合は取り締まることが難しく、またどこからが高額となるのかの価値観には個人差があるため、ルールを作って取り締まるとしても、線引きが難しいと感じました。

電子チケットは現代の技術の産物で便利ですが、曖昧な点もあるため、その部分を明確にしていけるようにする課題があると思います。

不正な転売業者は様々な手を使っていて、なかなか減りません。そのような業者を減らすにはファンの行動が大切になってくると思います。たとえば、チケットびあが運営している「チケットレ(※2)」というサービスを利用したり、最近

芸能人がしているように、Twitterで「#転売NO」というハッシュタグをつけたりして自分の気持ちを投稿してみるのも良いのではないのでしょうか。

※2 エンターテインメントを楽しむための公式チケットトレードリールサービス。チケットは券面価格で出品され、個人同士の取引に運営会社が仲立ちするなど、売る方も買う方も完全に取引ができる。

集団を通じたユースワーク

京都市ユースサービス協会・事業部長 水野篤夫

ユースワークにおいてグループワークという考え方や手法は重要な柱です。
そこで、今回はユースワークとグループワークの関係について取り上げます。

「グループワーク」への誤解

最近、さまざまな場面でグループワークという言葉を見聞きすることがあると思います。しかし、そのほとんどが、グループワークを誤解したり、そのある一面だけを捉えた使い方をされたりしているように思い、違和感を覚えています。市民活動や若者と関わる現場で経験を積んだ人ですら、グループワークという言葉が誤解されている場合があるのですが、その典型は、何か小グループで活動や「ワーク」(※1)を行うこと。グループワークとしてしまっている使用方です。確かに、グループワーク(作業)させるのだからグループ・ワークで、間違いでは無いのですがね……。



おしゃべりしながら……

グループワークというのは、元々、ソーシャルワークの一つの手法であり、(小)集団での活動でその力を用いて、メンバーである個人が課題解決に向かったり、成長につながったりすることを後押しする考え方や方法として、経験が蓄積されてきたものです。アメリカやヨーロッパで開発されたグループワークは、戦後日本に紹介され、「民主的な教育活動の原理・方法」といった形で青少年団体の指導者養成に組み込まれたり、福祉現場にも取り込まれ

たりしてきました。グループワークについての学問的な研究も、それに従って進められました。しかし、グループワークにおいて中心的な役割を果たす、グループワーカーを育てる十分な環境が整えられなかったこともあり、グループワークの有効性が実証されず、それに伴って徐々に研究も低調になってしまいました。その結果が、現在のようなグループワーク。グループワークをすること、グループワーク。便利な集団処遇という誤解を生む基になったといえるでしょう。

グループワークの実践例

では、グループワークとはいったい何なのか? 「集団の力を生かしてメンバーの課題解決につながる」とは、具体的にどういうことなのか? ちょっとと事例を取り上げて説明してみたいと思います。

以下は、高校生が作るフリーペーパー編集会議のシーンです。

(さ) 普段、気になっていることで、とりあげたいことがある? (まりこ) 「変(へん)」って言われる。普段言われて気になっている……みんなよく使うけど。普通とポーターって何? 「変」って何? (マ) そんなんなあ……。 (何) かふざけて見せようとする (さ) ちょっと静かにし! (植野) ゆっくり言ってみなよ。

(まりこ) 私、学校で変わってると言われる。それがすごく嫌で。さとこちゃん(双子の妹)は嬉しいみたい。だけど、私は嫌だから。「変って何」って聞きたい。

(ゆ) うんなんか抽象的だね。(話を続けたくない様子)

(まりこ) 最近、普通になってきたって友達に言われる。それで傷ついた。じゃあ普通って何?(少し興奮気味に一気にしゃべる感じ)

(きよう) なんかこのコーナーより、特集のテーマの方がいいと思う。

(さ) ち「普通って何?」みたいな感じかな。

(まりこ) えっ……ごめんなさい。

(植野) 謝らなくていいよ。

(きよう) そうだよ!



真面目な顔、笑顔、考えている顔

ここで起こっていたことは、話の内容だけを見れば、「高校生たちがフリーペーパーの内容を話し合っただけ」ということになるのですが、その過程で起こっていた、メンバー間の感情や価値観のやりとりに注目する必要があります。ここで何人かは、まりこの発言をあまり重視しない反応をしますが、植野やきよう等ははっきりとまりこが発言し続けるよう支持します。普段は引っ込み思案なまりこですが、自分の感じる違和感について取り上げ記事にしていくよう、ユースワーカーにも促されて言語化していくことになり、このメンバーがグループの力を生

かして「変って何? (学校で変わってと言われることの意味は?)」逆に、「普通って何?」ということを通して自分事として考えるきっかけになっていきます。ここでユースワーカーは、自由に高校生たちが話しやすい場づくりをすること、まりこの発言を支持し企画としてまとめるよう方向付けをします。学校や学年も異なる高校生たちが集まって、自己表現出来る場づくりをすることが、この取り組みの趣旨なのですが、普段はふざけてばかりいる彼/彼女らが、急に集中して課題に向き合う場面が出てきます。ユースワーカーはそうした場面を捉えてメンバーの経験の機会につなげていくのですが、こうした一連の関わり全体がグループワークの一例だと言えます。

ユースワークとグループワーク

ユースワークは、「若者が楽しさ、挑戦と結びつけられた学びと実践を通して、自分自身や他者および社会について学んでいくことを手助けする」ことです(前号参照)。若者が育っていく中で、家族を離れた集団に属していくことが大きな意味を持つので、ユースワークも集団・グループを通じた関わりがとても重要なものとなります。そこで、集団の持つ力への理解、その

中で起こっていることを観取すること、メンバー同士が相互援助しあうための後押しの方法など、グループワークの技法は大きな武器となります。単に楽しくプログラムが進めばいい、メンバーの葛藤が避けられればいい、ということではなく、メンバー(若者)の挑戦を促し続ける場として、グループを生かしていくことがユースワークと重なり合うグループワークの考え方なのです。

まとめ

どうでしょうか。最初に述べたグループワークへの誤解という問題を理解していただけたでしょうか。グループワークはユースワークにとっても大きな領域なのですが、グループワーカーとしての技法を学ぶことは日本では難しい現状があります。そしてそれ故に、グループワークが矮小化されて捉えられていく。再度、グループを若者の成長につなげていく方法論として注目していくとともに、実践を積み重ねていくことが必要だと考えています。

※写真は本文の事例とは直接関係ありません。

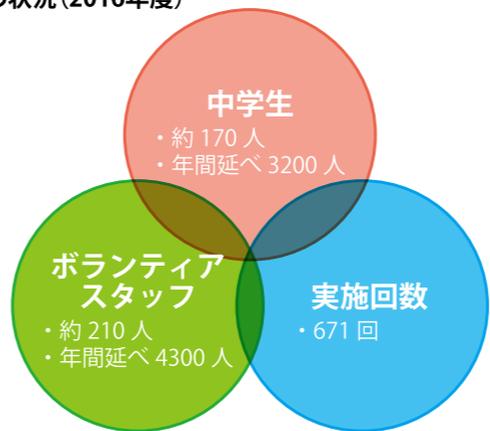
※1 ここでいうワークは、「ワークシヨップ」という方法の一部分としてイメージされています。

学習支援事業とは

京都市ユースサービス協会では、様々な事情で学習環境の整いにくい状態にある中学生らを対象として、高校への進学を手助けする学習支援事業を2010年から行っています。2006年より

ケースワーカーの自主的な活動として始まった取り組みが事業化され、2017年には市内すべての区で学習支援事業を展開し、それぞれの地域の状況に合わせて運営を工夫しながら実施しています。

運営の状況(2016年度)



活動の実際

学習会は、週に1回、1時間半〜2時間半、1対1での学習支援をベースに、大学生を中心とするボランティアスタッフが中学生の希望や思いを聞き取りながら一緒に勉強しています。勉強以外にも、交流イベントで中学生同士やボランティアスタッフとの仲を深める機会もつくっています。

みえてきた成果

学習面での成果としては、継続的に参加をして

られる経験が中学生にとって大きな意味をもつのです。

同時に、ボランティアスタッフにとっても社会課題を身近に捉え、同じ学習会の仲間と共に考え、「他者の役に立つ」という経験は大きな意味をもちます。中学生にとっては身近な「大人」であるボランティアスタッフもまた、成長過程にいる青少年です。活動を通して他者と関わる機会を得ることは、彼らにとっても社会とつながり、成長する重要な機会となっています。

花園大学研究チームから

こうした成果については、花園大学子どもの貧困研究会による「京都市学習支援事業調査報告」でも明らかにされています。この調査は、京都市ユースサービス協会が実施する学習支援事業の参加者・ボランティアスタッフ・ケースワーカーに対してアンケートを実施し、その結果をまとめたものです。調査報告の中では、中学生が安心できる相手と話すことで学習会を安心できる居場所と感じ、そういった居場所こそ自己肯定感が高まり、学習支援の成果を生み出していくことが報告されています。ただ勉強を教えるだけでなく、身近な大人と関わり、自分を肯定的に捉える経験をすることで学習支援の成果が生み出されると裏付けされています。

今後の展開

学習会に参加している中学生は経済的な困難の問題に限らず、親が遅くまで働いていて家での学習習慣が整っていない、外国にルーツがあり学習言語に困り感があるなど、異なる

意欲をとりもどした中学生

勉強への苦手意識が強かった中学生のBさんは、問題に向き合うことが難しく「わからへんし嫌、やりたくない」と諦めの言葉をよく口にしていました。学校や家庭では、そのような態度について叱責されることが多く、一層意欲をなくしている状態でした。学習会ではBさんに寄り添うことを決め、決して叱ることなく「一人では難しいね、一緒にやってみよう」と声をかけ、「やればできる」経験を重ね、Bさん自身が「やってみよう」と思えるように働きかけを続けました。学習会で成功体験を重ねるうちに、次第にBさんは意欲的に学習に取り組めるようになりました。



スタッフ研修の様子

いる中学生の基礎的な学力の向上がみられました。学力に「遅れ」のある中学生もいましたが、1対1の体制をとってボランティアスタッフが継続的に関わることで

現在、市内全ての区に1つは拠点があり、数としては拡大・充実がはかられています。今後は、これまでの運営の中で見えてきた諸課題に向き合い、中身を充実させていくことが求められます。欠席の多い中学生や外へ出にくい中学生への対応や、高校進学後のフォローアップも検討が必要かもしれません。または、学習支援以外にも生活環境や家庭環境を包括的に支援する仕組みづくりが求められているかもしれません。全拠点で話し合い知恵を出し合いながら、中学生のことを大切に思う大人のネットワークを広げコミュニケーションの持つ力が発揮される場づくりができればと思います。

個々の状況を把握することができ、それぞれに必要な学習を組み立てることができました。

はじめは学習に取り組むことが難しかった中学生も、「わかる」という感覚が自信になり、学習への意欲向上につながりました。テストの点数や通知表の評定など、目に見える成果を見せてくれた中学生もいれば、意欲や集中力や態度など、その姿勢に成果を表した中学生もいました。

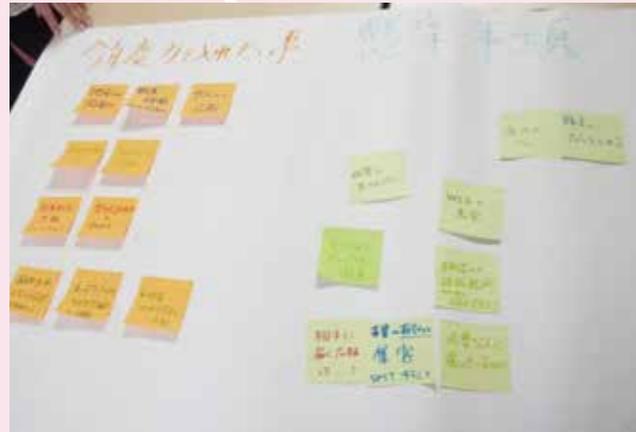
一定の関係性を築いたボランティアスタッフと学習を行うからこそ、細やかな気づきが活かせるのだと実感しています。

また、中学生とボランティアスタッフが良好な関係を築くことで、中学生にとって学習会が「飾らずにいられる場所」「安心していられる場所」になっています。信頼できるボランティアスタッフに見守られる安心感や、保護者や先生とは違った身近な大人に褒め

ユースから版

青少年グループのための「資金集め教室」開催します！

中京青少年活動センターでは、青少年グループのための資金集め教室を10月22日(日)に開催します。「活動資金の集め方が分からない……」そんな方に向けて、ファンドレイジングの専門家を招き、明日から活用できる補助金の申請・寄付の呼びかけ・広報・ファンづくりの基礎知識を教えてください。詳細は中京青少年活動センターまでお問い合わせください。



商店街で『恋ダンス』

下京青少年活動センターで活動している“ユース街づくりスタッフ「チーム街スタ」”が、下京区内の商店街や、センター周辺地域のPR動画を作成しました。ボランティアが商店街や地域の方々に声をかけ、昨年度、大きな反響を呼んだ、通称『恋ダンス』を踊ってもらいました。前作『恋するフォーチュンクッキー』の商店街PR動画に比べ、協力団体数は倍以上の約50団体。ボランティアは「これだけ協力を得ることが出来たのは、継続的に関わりを築いてきたからだ」と実感できた」と話します。完成した動画は商店街の皆さんの魅力が詰まったものになっています。ぜひ一度、商店街に足を運んでみてください。



華～puspa～の結成15周年記念公演

中学・高校生の頃から伏見青少年活動センター(以下、ふしみん)を利用している2人の記念公演「nowhere(ノーウェア)」が6月30日(金)、呉竹文化センターにて開催され、観覧させていただきました。

毎日のようにふしみんに通って練習し、夢に向かって努力する姿をずっと見てきた私たちには、今日の舞台がとても、感慨深く、誇らしい気持ちになりました。ふしみんを「ただの練習場所ではなく、そのままの自分たちが受け入れられる大切な居場所」と語る2人をこれからも応援していきたいと思うとともに、今後ますますのご活躍を楽しみにしています。(ふしみん職員)



気軽に社会貢献を「学生ボランティアサークル aile (エル)」

京都の大学生を中心に構成されているインターカレッジサークル「aile」は、教育・福祉・環境の分野でボランティア活動を行っています。その活動の一つであるサタデースクールでは、大宅小学校にて小学生との理科実験、写真立て作りなどの勉強や遊びを主催しています。また、東山青少年活動センターで定期的にボランティア活動も行っています。気軽に参加できることや、真面目な学生が多く、活動に真剣に取り組めるところがこのサークルの魅力です。現在部員を募集しているので、気になった方はぜひサークルHPを覗いてみてください。(取材：学生ボランティアF)



なんたん地域で新たな展開

若年無業者の就労支援拠点を開設！！

京都市ユースサービス協会では、10年あまり京都若者サポートステーション(以下サポステ)を受託・運営し、京都市内を中心に若年無業者の就労支援に取り組んできましたが、今年度より乙訓地域・南丹地域(亀岡市/南丹市/京丹波町)を含む対象地域に広がり、亀岡市に新たな拠点を構えました。

「なんたん地域若者サポートステーション」と命名されたその新拠点は、サポステのサテライトとして、2017年4月4日に開所いたしました。その結果、1年あまり、サポステ支援の空白地域であった当該地域に再びサポステが設置されました。



なんたん地域におけるネットワーク型支援

開所から数か月が過ぎ、関係機関との連携も進んでおりますが、認知度とともに、分野を超えた連携が課題となっています。若年無業者の中には、ひきこもり状態の若者も少なくありません。また、背景もさまざまであり、各支援機関との連携が必須です。京都府のひきこもり支援をもとにした「なんたん子ども若者ネットワーク会議(2017年)」を発端に、「教育」「家族」「福祉」「就労」4分野の連携・支援のHUB(窓口・調整・繋ぎ……)として、「なんたんユースHUB」が立ち上がり、動いています。

なんたんサポステも参画しており、ひきこもり支援との連携を視野に入れつつ、就労分野における地域の中核的存在となるべく、若者の就労支援に取り組んでいきたいと考えております。



なんたん地域若者サポートステーション

〒621-0042 京都府亀岡市千代川町高野林西ノ畑16-19
tel: 0771-23-8002 fax: 0771-23-8004
HP: <http://ys-kyoto.org/support/nantan/>
火曜日・木曜日・土曜日 12:00～17:00
上記以外の曜日及び祝日、年末年始(12/29～1/3)(閉所)
JR嵯峨野線 千代川駅下車 徒歩10分/ 駐車場あり

発行 公益財団法人 京都市ユースサービス協会

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262 京都市中京青少年活動センター内
tel: 075-213-3681 fax: 075-231-1231 E-mail: office@ys-kyoto.org
HP: <http://www.ys-kyoto.org>

印刷: 株式会社谷印刷所 デザイン: 自然堂株式会社

